

沼津柿田川ロータリークラブ



RI会長 マーク・ダニエル・マローニー
 RI第2620地区ガバナー 安間 みち子
 会長 菊地 勝男
 幹事 齊藤 悦生
 例会日時 毎週水曜日 点鐘12:30
 例会場 沼津卸商社センター 2F
 〒411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203
 TEL 055-971-6500
 〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方
 TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322
 E-MAIL officework@rcj-nk.org

事務局

会長挨拶

第1761回例会 会長挨拶

会長 菊地勝男

皆様こんにちは、コロナ禍は日本もまだまだ、収まる気配はありません。

欧州在住の金融ジャーナリストの方から頂いたドイツの情報ですが、ドイツでは5月以降新型コロナウイルスに関するロックダウンが大幅に緩和され、町に活気が戻ってきたそうです。

客は、マスクを着け、他の客や店員から1.5メートル距離を取るといった条件で全ての商店が再開され、レストランや飲食店、ホテルも営業出来るようになった。二ヶ月近く閉鎖されていた児童公園、遊園地、動物園なども利用出来るようになった他、プロサッカーも観客なしでプレイを再開した。コンサートホールや劇場、映画館なども、まもなく営業が許可される。6月15日には、フランス、オーストラリア、スイスとの国境検査が廃止され、自動車旅行が容易となる。

しかし、ロックダウンが緩和されても、コロナ危機による経済的打撃は深刻であり、例えば市場調査会社が、ドイツの1000人の勤労者を対象に行った世論調査によると、コロナ危機が市民の老後の備えに大きな悪影響を及ぼしていることが明らかになった。回答者の50%が、コロナ危機の影響で生命保険など老後の備えに対する考え方が変わったという。

特にコロナ危機によって株価が大きく下落した衝撃を受けたのは、女性の方だったそうです。女性回答者の34%が、もっと政府が老後の備えに関与してほしいという希望を表明した他、株価の変動が大きすぎると不満を表した。

さらに、男性より女性の方が、コロナ危機によって著しく消費意欲を減退させていることも分かった男性はコロナ危機で消費意欲が減ったと答えた人は25%だったが、女性は40%が消費を減らしていた。こうした数字から、コロナ危機が多く女性の可処分所得を減らしていることが伺われる。

このアンケート結果は、男性より女性の方がコロナ危機による経済的悪影響を受けており、老後のための備えを減らす傾向が強いことを示しています。

日本はどうでしょうか。

幹事報告

■ 事務連絡 ■

- *ガバナー事務局より
バーチャル国際大会 到着
- *ロータリーの友事務局より
ロータリーの友6月号 到着
- *最終家族例会はコロナの影響を考慮し休会となりました。

■ 例会変更 ■

- *富士ロータリークラブ
6月3日(水)→コロナウィルス感染拡大防止対策として休会
- *富士山吉原ロータリークラブ
6月4日(木)、11日(木)、18日(木)→コロナウィルス感染拡大防止対策として休会→MU無し
- *富士宮ロータリークラブ
6月15日(月)→特別休会

■ 週報到着 ■ ありません。

本日のゲスト・ビジター

ゲスト・ビジターはありませんでした。

スマイル報告

濱田清明 早退します。
 梅田欣一 ロータリー財団へ。
 梅田欣一 米山記念奨学会へ。
 川口尚史 会長の有終の美の卓話中に失礼します。

会長幹事退任挨拶



会長退任挨拶

2019-2020年度会長 菊地勝男
本年度は、短い一年だったような気がいたします。

後半はコロナ危機で例会が出来ず、必須重点項目として挙げた会員増強、会員親睦の活動が頓挫し、思うような成果に至りませんでした。

しかし、事業計画の3本柱であります、

1. 第2580地区、第2620地区合同「米山奨学生との柿田川清掃奉仕活動」
2. ジュニア&シニアグランドゴルフ大会主催
3. エンドポリオ撲滅街頭募金運動 大成功をおさめました。

また、付属事業として計画した、

4. 清水町ふれあい広場参加
5. R財団及び米山奨学会寄付

も、それなりの成果を見る事が出来ました。

「美辞麗句を排して本音で語ろうロータリアン」をスローガンにしたこの1年でしたが、少人数だからその会員結束をより強めたと自負いたします。

ご協力、ありがとうございました。



幹事退任挨拶

2019-2020年度幹事 齋藤悦生
幹事就任中には大変皆様にはお世話になりました。

コロナウイルス感染症の影響もあり、何をしたのか、何ができたのかと思ひ返しますとほとんどが出来ていなかったというのが正直なところであります。

当クラブは少数での運営ではありませんが、気の合った仲間が集っている

れており、それも諸先輩方の鉄壁な壁に守られてのことで痛感して皆様と例会でお会いできることが唯一の癒しの場であり、仕事から離れた。

当クラブは沼津と三島に挟まれた立地において、新規メンバー獲得には難しい条件の中での会員増強といえると思いますが、同じ考えを共有できる仲間を少しずつでも増やしていくことに今後は微力ながら挑戦していく所存です。

私にとって、かけがえのない存在となっている沼津柿田川ロータリークラブの一員として、今後はさらに皆様と共に笑顔を増やさず、行動してまいります。

幹事就任中には、本当に皆様にお世話になりました。そしてこれからも宜しくお願い申し上げます。

簡単ではありますが、幹事退任あいさつとさせていただきます。

多謝



各委員会委員長事業報告

奉仕プロジェクト委員会

委員長 安本 晋

奉仕作業については、大半が上期に予定されていたこともあって、コロナに影響をされることもなく、ほとんどの奉仕活動が会員各位の協力をもって滞りなく実施できた。特に柿田川清掃奉仕活動は、午前中に奨学生とディスカッションを実施したり、参加人数が拡大されて規模が拡大されるなどした。今後もよりよい活動ができるように検討していきたい。

来年度については、コロナの影響から、クラブ外の参加者を募る形での奉仕活動の実施は困難になる可能性があるが、可能な限り全員参加、かつクラブ外の参加者と共に奉仕作業が続けたいように実施を検討していきたい。

ロータリー財団委員会

委員長 川口尚史

毎月月初に1000円の寄附をお願いし、本年度も実施致しました。

また、ベネファクターを1名という目標でしたが、本年度はまだ未達成となっており、次年度には2名の目標を掲げてもらえるよう引き続きしたいと思います。

クラブ研修リーダー委員会

委員長 前田 守

今年度、地区ではRLIを推し進めようとしています。今年度の地区が目標としていた研修内容は大きく以下の二つです。

1. ロータリーの正しい知識の習得
2. ファシリテーター技術の習得

優れたリーダーシップを発揮できる人材を育成していくことで、ロータリアンとしての基盤となり、延いては私達クラブの発展に繋がっていくと思っています。

今年度、研修の対象者ではありませんので、今年度の地区の活動を以下に記載いたします。

第一回が10月5日(土)、本年度第1回のRLIミーティングが静岡市にて開催されました。RLIミーティングは、RLIプログラムに欠かせないディスカッションリーダーになるための研修です。

昨年度、各クラブから推薦されたディスカッションリーダー候補者が、参加者の積極的な発言を促すファシリテートスキルを身につけるべく研修を重ねています。当日は、RLI日本支部から中村靖治委員長(第2770地区パストガバナー・元RI研修リーダー)、高野孫左エ門副委員長(RI研修リーダー)のご指導の下、各候補者10分、実戦形式の演習を行いました。また

第二回が2019年11月30日(土)、RLI日本支部から中村靖治様、高野孫左エ門様を招き、ツインメッセ静岡にて本年度第2回のRLIミーティング(DL研修)が開催されました。安間ガバナーから25名のディスカッションリーダーへ委嘱状が交付されました。

各セッションの模擬演習では、RLI運営委員9名に加えて静岡RC、静岡中央RC、清水北RCから13名に「受講者役」を務め、RLIを初体験されました。

後半は、新型コロナウイルスの影響で思うような活動・成果は得られなかった現実があります。

RLIは、今後、本格的に進んでいくことと思います。

沼津柿田川ロータリークラブのよりよいクラブ運営を目指し、進んでいければと思っています。

一年間、ありがとうございました。

クラブ広報委員会

委員長 前田 守

2019-2020年度地区公共イメージ向上委員会より3つの方針が出されました。

1. ENDポリオ活動支援
2. ITツール活用
3. 「世界を変える行動人」キャンペーン支援です。

上記の方針を基に、沼津柿田川RCでの具体的な活動として、以下の計画し、実施いたしました。

「ENDポリオ活動支援」では、ポリオ撲滅キャンペーンにおいて沼津4クラブ合同募金活動の声かけをさせて頂き、10月6日(日)に実施を致しました。

概ね半日の短い時間ではございましたが、4クラブのロータリアンとインターアクトクラブの皆さんとが一つになり、ポリオ募金活動を行いました。参加者は、総勢168名が参加、募金額の総額は、73,512円となりました。

ポリオ撲滅に向かって皆で頑張る姿は、大変清々しく、次年度も続けていけたらと思います。

「ITツール活用」ですが、「MyRotary」への全員の登録を完了したいとの計画をし、クラブにとっての活用方法を考えて行きたと思いましたが、なかなか実績には結び付きませんでした。

今年は、新型コロナウイルス対策一環で、休会が多くなりました。そこで、WEB ミーティングの環境を沼津柿田川ロータリーのミーティングルームを作りました。

まだ活用方法の詳細は検討されていませんが、今後の一つの案として、月3回行われる例会の内、月1回程度を限度としてWEBミーティングでの参加を可能とするような運用も考えられては如何でしょうか。

その他、沼津柿田川RCの活動として以下の事業の活動支援を行いました。

1. 第2580地区、第2620地区 米山奨学生合同柿田川清掃奉仕事業の撮影
2. 沼津柿田川RCの活動パンフの作成更新
3. 清水町ふれあい広場でのPRの実施を行いました。

今後も、地域でのロータリーの公共イメージを高める活動を考え、協力していきたいと思えます。

皆さんのご協力に感謝致します。

一年間、ありがとうございました。

会員増強退会防止委員会

委員長 濱田清明

今年度は会員9名からのスタートとなり、目標を純増5名とし、達成を目指して一年間柿田川での主な活動の中で、冊子を作成したり、前田会員のビデオ作成及び放映などで会員増強を目指して参りましたが、2020年度1名の増強に留まりました。

来年度は引き続き、前会員の復会を中心に力を入れて増強を目指し、又、機会があれば率先してビデオの放映をしたり、冊子を配布したりしながら沼津柿田川ロータリークラブの活動を広く知って頂き、興味を持っていただけるよう頑張っていきたいと思えます。

クラブ管理運営委員会

委員長 梅田欣一

例会運営につきましては、我がクラブは9名しかおりませんので、アットホームな雰囲気、秩序ある例会運営ができたと思えます。また、急ぎの用事がある人以外は片付けも全員でやっており、雰囲気は非常によかったです。

出席については、我がクラブは少人数なため、一人休むと出席率に大きな影響が出てしまうので、なるべく出席をお願いしてきました。ただ、メーキャップ制度が変更になったので、メーキャップしやすくなったと思えます。

親睦についても、各種の例会等を通じて、我がクラブの会員相互間、他クラブの会員との親睦が図れたと思えます。

例会の実施につきましては、コロナ禍の影響により下半期の例会運営に多大な支障が出てしまったことは残念ですが、これは全世界的な問題なので、やむを得ないと思えます。

米山梅吉記念館運営委員会

委員長 梅田欣一

米山梅吉記念館運営委員会は、コロナ禍の影響により、例年よりも十分な活動ができませんでした。

9月14日に記念館創立50周年記念式典がありましたが、私も齋藤さんもスケジュールの都合がつかなくてお手伝いができず、非常に残念でした。

お手伝いしたい気持ちの大きさに比例した活動ができず、非常に残念な1年でした。

◆次回例会プログラム◆ 会長幹事就任挨拶

出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席数	出席率	前々回3月25日修正出席率
8名	8名	6名	75.00%	66.66%

出席： 菊地・梅田・濱田・川口・安本・齋藤 計6名

欠席： 前田・岩邊 計2名

MU: 計0名